

景観を重視した再開発事例

- 日時/2007年5月18日(金) 13:40~17:30
- 場所/株式会社コトブキ ショールーム(D.I.センター)スタジオ 【所在地】東京都港区浜松町1-14-5
- 主催/アジア景観デザイン学会
- 参加定員/140名
- 参加費/一般1000円・学生無料・会員無料(法人会員2名まで無料)
- 講演大会終了後に講演者を交えた交流会を行います。(会費/1000円)

記念講演 14:00~14:40
講師 篠原 修氏/政策研究大学院大学 教授

講演 14:45~17:30

「駅前広場におけるアルミ構造材の施工実績紹介
一朝霞南口駅前広場等整備工事・三鷹駅南口広場整備工」
講師 日野憲司氏/住軽日軽エンジニアリング株式会社

「(観光・景観立県)オキナワを観る」
講師 長倉 純幸氏/株式会社環設計 取締役・企画開発室長

「東京丸の内を中心とする計画と
九州大学新キャンパス計画の景観デザインについて」
講師 久米 大二郎氏/株式会社三菱地所設計 常務

「上海の景観事情」
講師 萩野谷 昭二氏/上海環球金融中心有限公司(上海ヒルズ) 上海副総経理
来賓 舟久保 敏氏/国土交通省 都市・地域整備局都市計画課景観室 課長補佐

交流会 18:00~19:00
■場所/株式会社コトブキ ショールーム(D.I.センター)スタジオ

アジア景観デザイン学会(講演大会)について

アジア景観デザイン学会(ATDeS)は、「景観の豊かな国は心も豊かになる」との理念の下に、アジアに適合した景観のあり方を追究することを目的として2004年に設立されました。現在は会員数約100者ですが、大学の研究者以外に、約50者が企業であり、行政も加わる実践的で機動力のある大変ユニークな学会です。

また、はじめから国際学会として創設し、秋季大会は韓国または中国と日本との隔年開催とし、韓国や中国での同名の学会創設も検討されています。一昨年ソウルに続いて今秋は、中国の広州市で開催します。

本学会は、前身である九州景観材料研究会を母体とし、韓国や中国との交流が深い福岡で発足しましたが、本社が東京にある企業会員も多く、初の東京大会を開催します。

春季大会は、講演を主体とした大会としています。東京大会では、景観づくりにかかわる技術や景観法の展開事例等について、篠原修氏の記念講演ほか4件の講演を予定しています。いずれも、聞き逃さない内容になるはずですが、

本学会にはどなたでも入会でき、どなたでも自由に春秋の大会に参加できます。まだ生まれて間もない学会ですが、景観に関する新しい価値を共有し創造する学会として発展しつつあります。皆様にご参加いただき、さまざまな意見交換ができることを期待しています。

アジア景観デザイン学会
会長 佐藤 優

参加申し込み ■お申し込みと問い合わせ先/アジア景観デザイン学会事務局(昭和鉄工株式会社 都市景観事業部内)
tel092(651)2939 fax092(651)2698 e-mail_s_ehara@showa.co.jp

参加希望の方はメールまたはFAXにてお申し込み下さい。参加定員に限りがありますので定員になり次第、締りさせていただきますのでご了承下さい。

氏名 _____

所属 _____

参加人数 _____

懇親会参加人数 _____